

印西市スポーツ推進基本計画 骨子案

令和3(2021)年9月時点

印西市

目 次

第1章 計画の策定にあたって	1
1 計画策定の背景と趣旨	1
2 計画の位置づけ	2
3 計画の期間	3
4 計画策定の体制	3
5 スポーツ分野を取り巻く国や県の動向	4
第2章 印西市の現状と評価・課題	6
1 統計データ等からみる現状	6
2 アンケートからみる現状	10
3 団体調査からみる現状	24
4 課題のまとめ	29
第3章 計画の基本的な考え方	30
1 基本理念	30
2 基本目標	31
3 計画の体系	31

第1章 計画の策定にあたって

1 計画策定の背景と趣旨

国では、平成23年6月に「スポーツ基本法」が制定され、スポーツに関する基本理念、国及び地方公共団体の責務が明確にされました。

また、平成24年には「スポーツ基本計画」が、平成29年には「第2期スポーツ基本計画」が策定され、スポーツ立国を実現するために国民、スポーツ団体、民間事業者、地方公共団体、国等が一体となって取り組むための指針として示されました。

本市では、平成20年3月に「スポーツ振興基本計画」を策定し、「するスポーツ」「みるスポーツ」「ささえるスポーツ」の振興を図り、スポーツの推進に取り組んできました。

平成29年12月には「教育振興基本計画」として、教育振興、生涯学習、スポーツ、文化芸術の4つの教育分野の計画を包括し、市の教育や学習、スポーツ等の施策を総合的に展開してきました。

この度、組織改編に伴い「スポーツ推進基本計画」として単独で策定することとなりました。

スポーツ施策を取り巻く現状として、前期計画の期間中は、2019年ラグビーワールドカップの日本初開催や2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を好機として、スポーツに対する意識や関心が一層高まりを見せました。一方で、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、スポーツ活動の自粛や運動施設、競技場等の閉鎖を余儀なくされ、スポーツにおいて重要な「する」「みる」「ささえる」の関わり方も大きく変化しました。

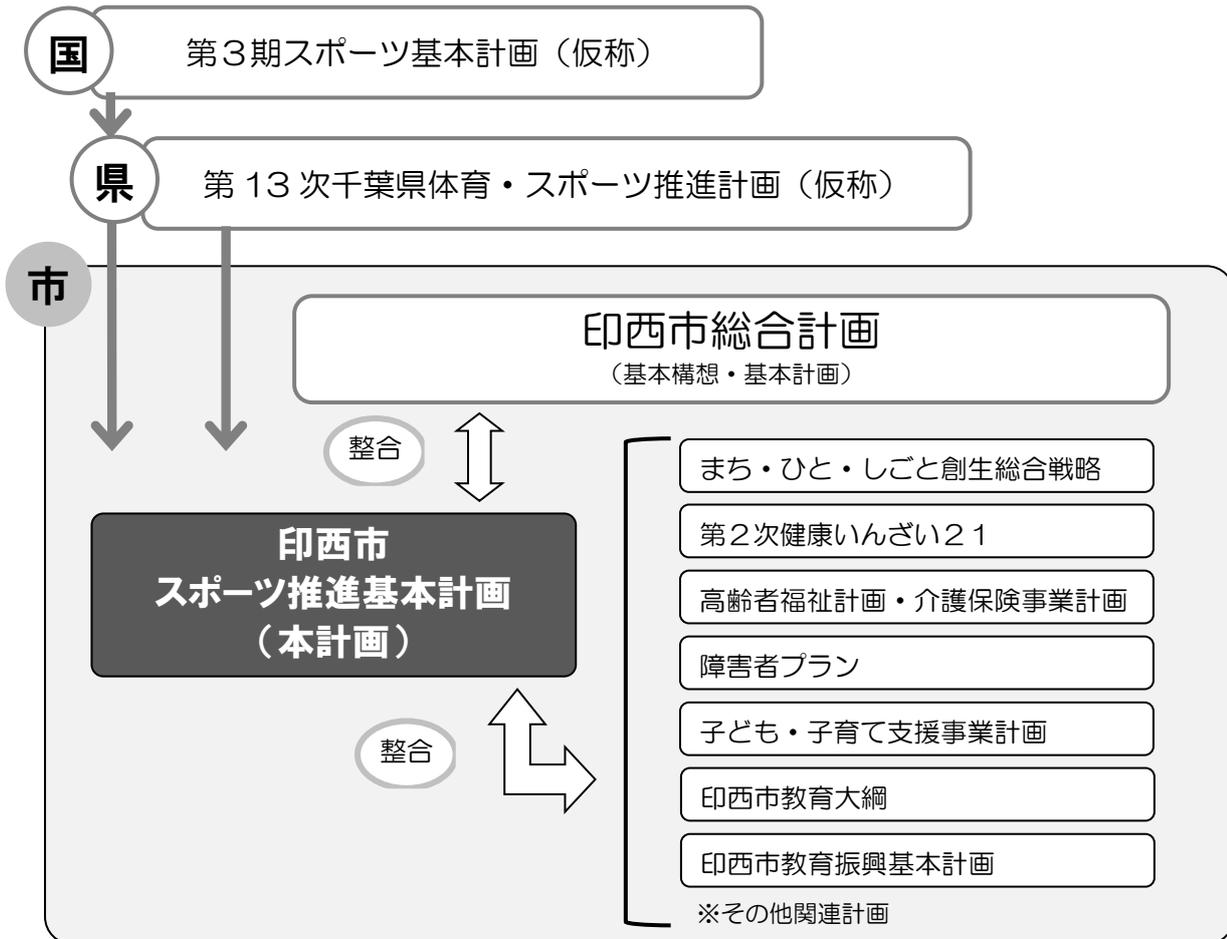
本計画の策定に当たっては、こうした国の動向やスポーツを取り巻く様々な現状を踏まえる必要があります。本市では「新しい生活様式」に対応したスポーツへの取り組み方を取り入れながら、スポーツへの参加機会の拡充や、スポーツ団体、指導者への支援などに取り組んで参りました。

そして、子どもから高齢者まで市民一人ひとりが生涯にわたり運動・スポーツを楽しむことができる社会を目指し、本計画を推進していきます。

2 計画の位置づけ

本計画の策定については、スポーツ基本法第10条「地方スポーツ推進計画」に該当するものとして、スポーツ基本法の理念に則り、国のスポーツ政策の基本的方向を示す指針である「スポーツ基本計画」を踏まえるとともに、県のスポーツに関する計画、本市の最上位計画である印西市総合計画等、関連する施策分野別計画との整合性を図っています。

●●関係図



3 計画の期間

本計画は、令和4年度～令和8年度の5年間を期間とします。計画最終年度の令和8年度には計画の見直しを予定しています。

●●本計画及び関連計画の期間

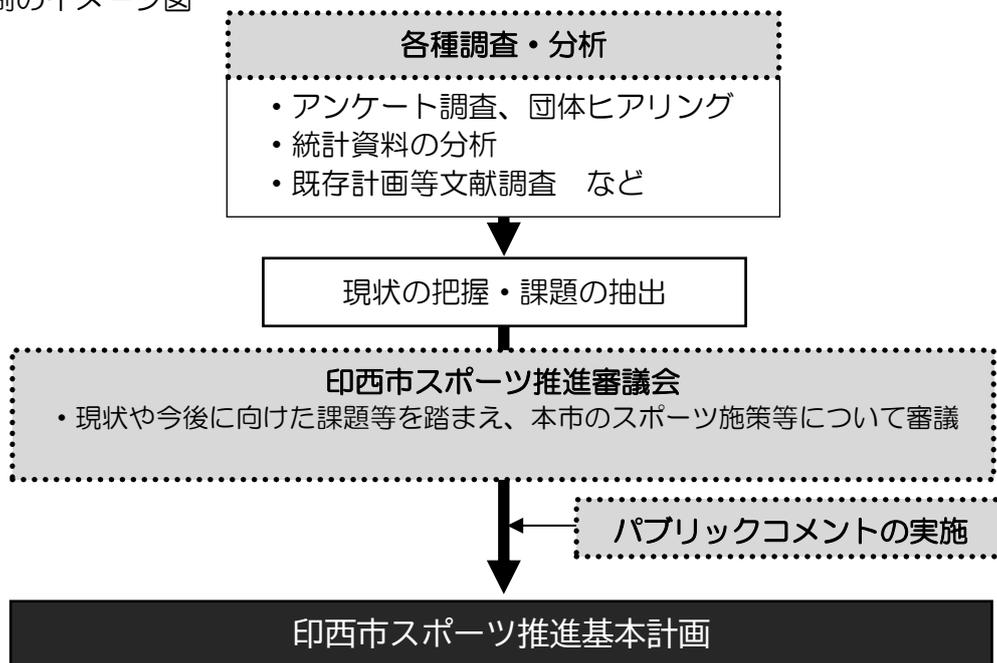
平成/令和	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
印西市総合計画												
まち・ひと・しごと 創生総合戦略					令和2年度以降は印西市総合計画（基本計画）に包含							
第2次 健康いんざい21												
教育大綱												
教育振興基本計画												
スポーツ推進基本計画 (本計画)	(平成29～令和3年) 教育振興基本計画に包含											

4 計画策定の体制

本計画は、学識経験者や教育関係者、スポーツ活動団体関係者等で構成された「印西市スポーツ推進審議会」に意見を伺い、検討を経て策定しています。

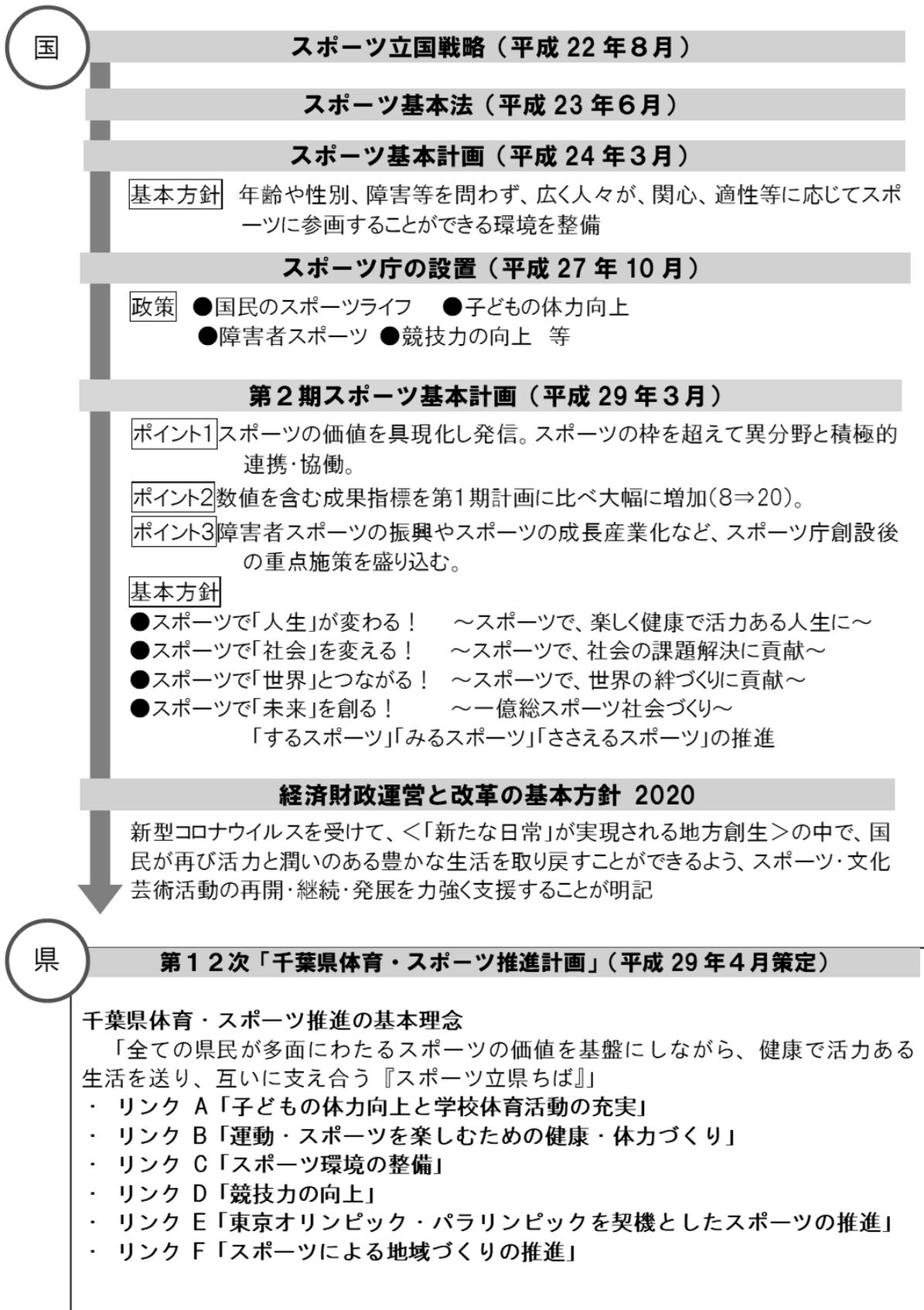
また、策定にあたっては、10歳代から70歳代の市民へ向けたアンケート調査や各スポーツ団体へのヒアリング、パブリックコメントの実施等を通じ、ニーズの把握、意見の収集に努めています。

●●体制のイメージ図



5 スポーツ分野を取り巻く国や県の動向

●●国・県の動向



※第3期スポーツ基本計画（国）に盛り込むべき内容（令和3年4月21日諮問）

●**第一 未来社会における生涯を通じた Sport in Life ビジョン等を含め、2030年以降を見据えたスポーツ政策の在り方の提示**

- スポーツ基本法の理念、スポーツ庁設立の趣旨、第2期計画の成果と課題
- 東京大会をはじめとした大規模スポーツ大会の自国開催に係るレガシーの継承・発展
- 予想される社会の変化を踏まえた、来るべき社会像
- 「持続可能な開発目標（SDGs）」の理念やユネスコのカザン行動計画等の国際動向

●**第二 今後5年間のスポーツ政策の目指すべき方向性及び主な施策、計画の実効性を高めるための方策の提示**

- 障害者、女性、子供、高齢者等、多様な主体の参画
- スポーツ団体、他の行政機関、地方公共団体、学校（大学及び UNIVAS 等を含む。）、民間事業者、研究機関等との連携・協力
- デジタル技術をはじめとした新技術やデータの活用
- 多様な財源・資源の安定的な確保、戦略的・効果的な活用
- 各々の政策目標や具体的施策の達成状況に係る検証・評価
- 地方スポーツ推進計画等の策定に当たっての指針としての活用

第2章 印西市の現状と評価・課題

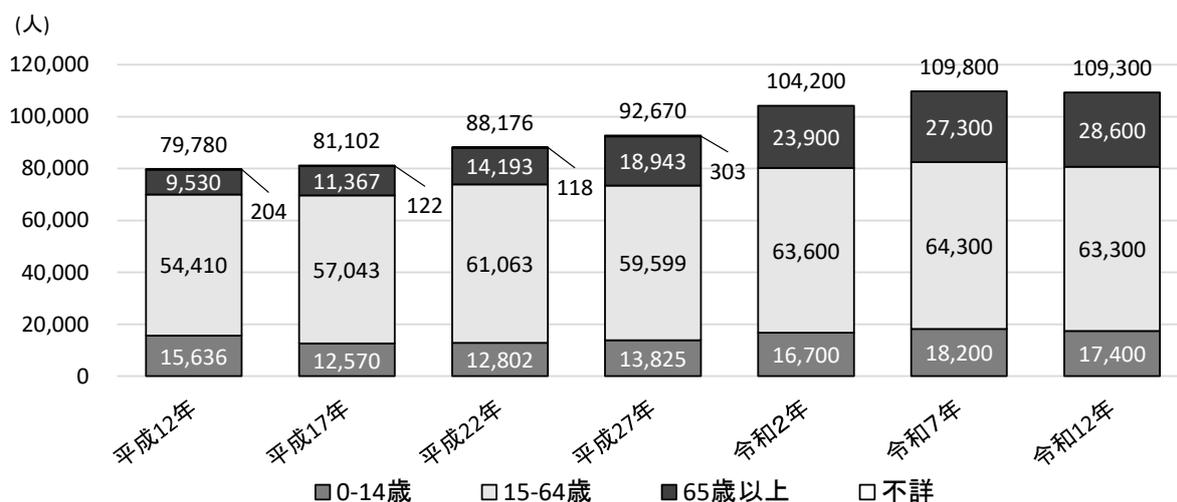
1 統計データ等からみる現状

(1) 人口の状況 ※公表後令和2年国勢調査の結果に更新

人口の推移をみると、平成12年から平成27年にかけて増加傾向となっています。3区分別人口の状況を見ると、0-14歳では平成12年から平成17年にかけて減少していましたが、平成22年以降は増加傾向となっています。15-64歳では平成22年まで増加していましたが、平成27年で減少傾向となっています。65歳以上では一貫して増加傾向となっています。

人口の推計については、令和7年まで増加傾向ですが、令和12年には減少傾向に転じる見込みです。

●●人口の推移と推計

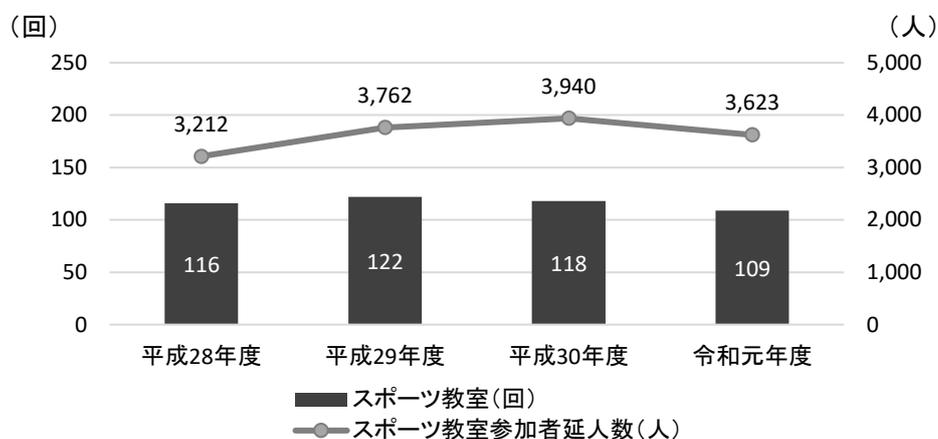


資料：平成12～27年は国勢調査、令和2年以降は総合計画による推計値

(2) スポーツ活動に関する状況

スポーツ教室の開催回数については平成28年度から29年度にかけて増加していましたが、平成30年度以降は減少傾向となっています。参加者延べ人数については、平成30年度まで増加で推移していましたが、令和元年度では減少となっています。

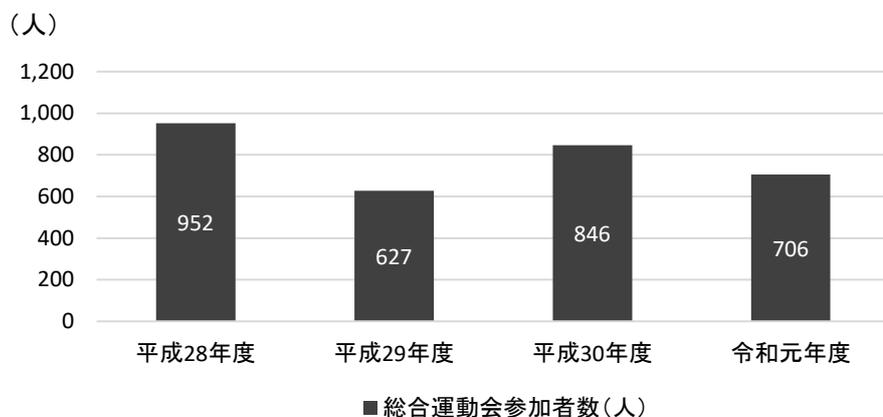
●●スポーツ教室の状況



資料：スポーツ振興課

総合運動会参加者については、年によって差があり、令和元年度では706人となっています。

●●総合運動会参加者の状況



資料：高齢者福祉課

(3) 市内のスポーツ施設の状況

直近3年間の市内のスポーツ施設の状況をみると、松山下公園陸上競技場、牧の原公園、平賀学園台、木下交流の杜公園で増加傾向にあります。

松山下公園				
(人)	陸上競技場	野球場	テニスコート	合計
平成30年	17,886	23,925	8,353	50,164
令和元年	18,558	32,464	7,696	58,718
令和2年				

高花公園			
(人)	野球場	テニス	合計
平成30年	25,905	3,634	29,539
令和元年	25,515	3,346	28,861
令和2年			

牧の原公園		
(人)	テニスコート	合計
平成30年	9,019	9,019
令和元年	9,479	9,479
令和2年		

電大平岡グラウンド			
(人)	野球場	球技場	合計
平成30年	2,636	3,271	5,907
令和元年	2,689	2,415	5,104
令和2年			

松山下公園総合体育館				
(人)	メインアリーナ	サブアリーナ	武道場	多目的室
平成30年	51,899	32,083	19,943	20,581
令和元年	42,492	24,615	17,978	20,989
令和2年				
	会議室	弓道場	トレーニングルーム	合計
平成30年	18,645	4,073	16,556	163,780
令和元年	15,985	1,673	14,116	137,848
令和2年				

印旛中央公園					
(人)	野球場	テニスコート	弓道場	多目的運動広場	合計
平成30年	23,705	5,104	1,709	13,981	44,499
令和元年	20,216	4,631	1,095	13,260	39,202
令和2年					

印旛西部公園				
(人)	野球場	テニスコート	多目的運動広場	合計
平成30年	9,996	2,380	4,302	16,678
令和元年	6,479	2,096	2,677	11,252
令和2年				

平賀学園台緑地		
(人)	テニスコート	合計
平成30年	2,933	2,933
令和元年	11,793	11,793
令和2年		

萩原公園		
(人)	テニスコート	合計
平成30年	5,157	5,157
令和元年	4,485	4,485
令和2年		

本笠スポーツプラザ				
(人)	野球場	テニスコート	多目的球技場	合計
平成30年	20,265	5,988	8,699	34,952
令和元年	19,661	4,913	3,040	27,614
令和2年				

泉公園		
(人)	パークゴルフ場	合計
平成30年	10,902	10,902
令和元年	10,414	10,414
令和2年		

木下交流の杜公園		
(人)	多目的運動場	合計
平成30年	4,271	4,271
令和元年	6,355	6,355
令和2年		

↑ 数値を令和2年度からに更新した場合は「フットサルパーク」が別項目として追加になる

2 アンケートからみる現状

(1) 調査の目的

本計画の策定にあたり、市民の運動・スポーツに関する日頃の活動やご意見を伺い、子どもから高齢者までが心身ともに健康で明るく生活できるよう、運動・スポーツに参加しやすい環境づくりを目指すための基礎資料とすることを目的として実施しました。

(2) 調査の概要

調査対象者	10歳代から70歳代の市民3,000名（無作為抽出）
調査期間	令和3年3月11日～3月25日
調査方法	郵送配布・回収
有効回収数	1,686件
有効回収率	56.2%

●●報告書の見方

- 回答結果は、小数第2位を四捨五入した有効サンプル数に対して、それぞれの回答の割合を示しています。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「n (number of case)」は有効標本数（集計対象者総数）を表しています。
- グラフや表中の表記について、不鮮明になる場合は簡略化している場合があります。
- 調査結果の経年比較を行うにあたり、一部質問で平成18年度に印西市にて実施したアンケート調査結果を用い比較を行っています。また、国との比較を行うにあたり、一部質問で令和元年度に国で実施した「令和元年度 スポーツの実施状況等に関する世論調査」を用い比較を行っています。

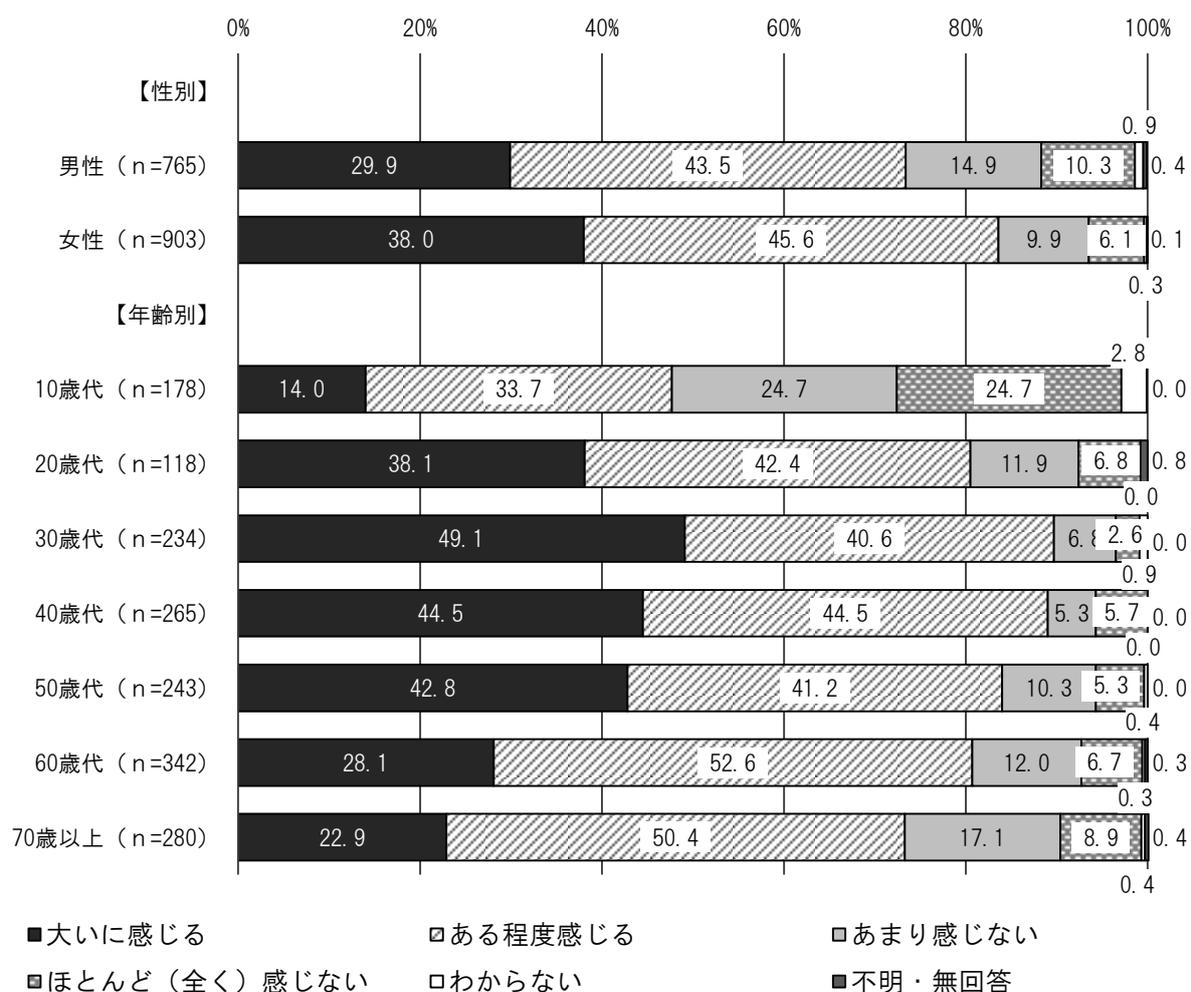
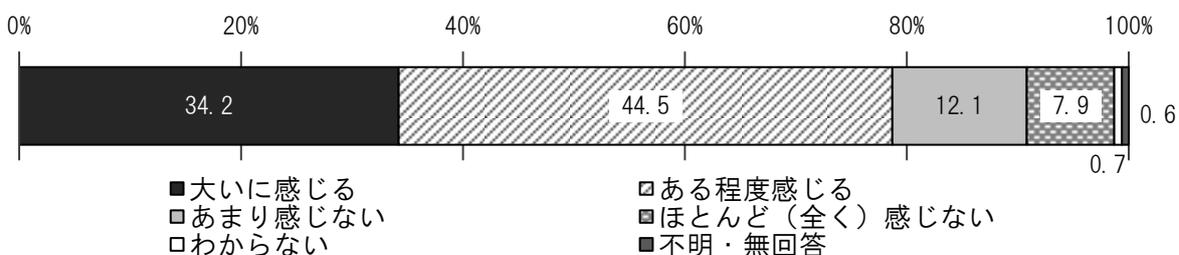
(3) 結果の概要

①健康の状況について

●あなたは、普段、運動不足を感じますか。(〇は1つ)

運動不足を「大いに感じる」と「ある程度感じる」の合計が約8割と、ほとんどの方が運動不足を感じています。性別でみると運動不足を感じる方は女性に多い傾向にあり、年齢別にみると30～40歳代の働き盛りの世代で約9割と多くなっています。

n=1,686



②運動・スポーツの実施状況や意向について

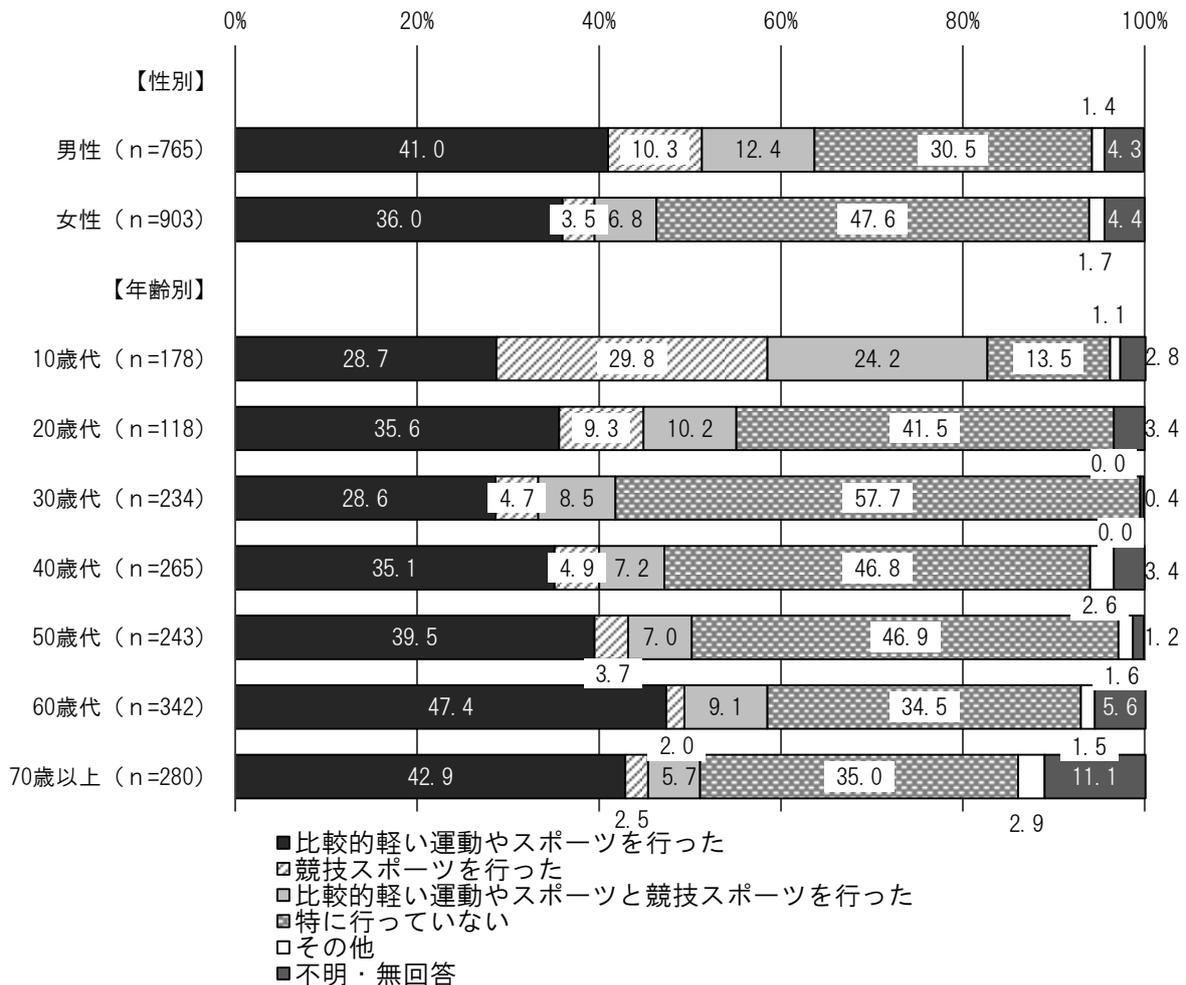
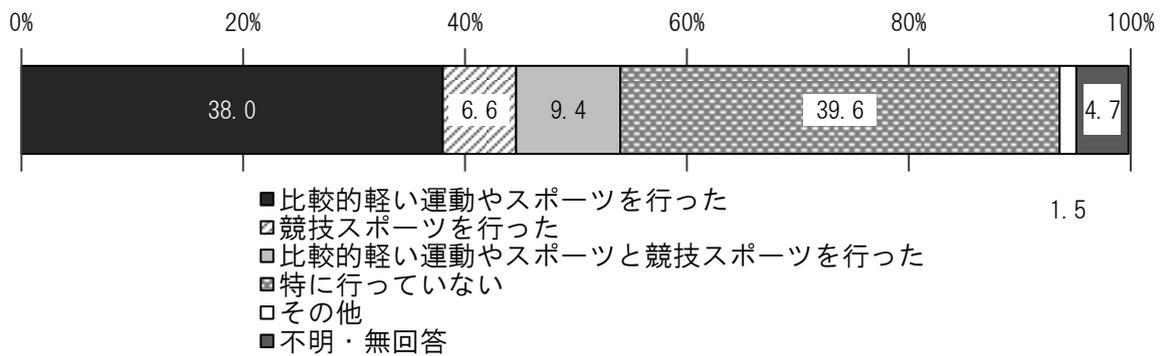
●ここ数年で、何らかのスポーツを行いましたか。

スポーツの実施状況については、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年では、何らかのスポーツ等を『行った』割合は54.0%でしたが、コロナ禍の2020年では43.7%と、スポーツ等を行っていない割合が約10ポイント減少しています。

男女別にみると、何らかのスポーツ等を『行った』割合はコロナ前、コロナ禍ともに男性で多くなっています。年齢別にみると、10歳代でコロナ前で約8割、コロナ禍で約7割と多くなっており、20～30歳代にかけて減少し、40歳代以降で増加しています。

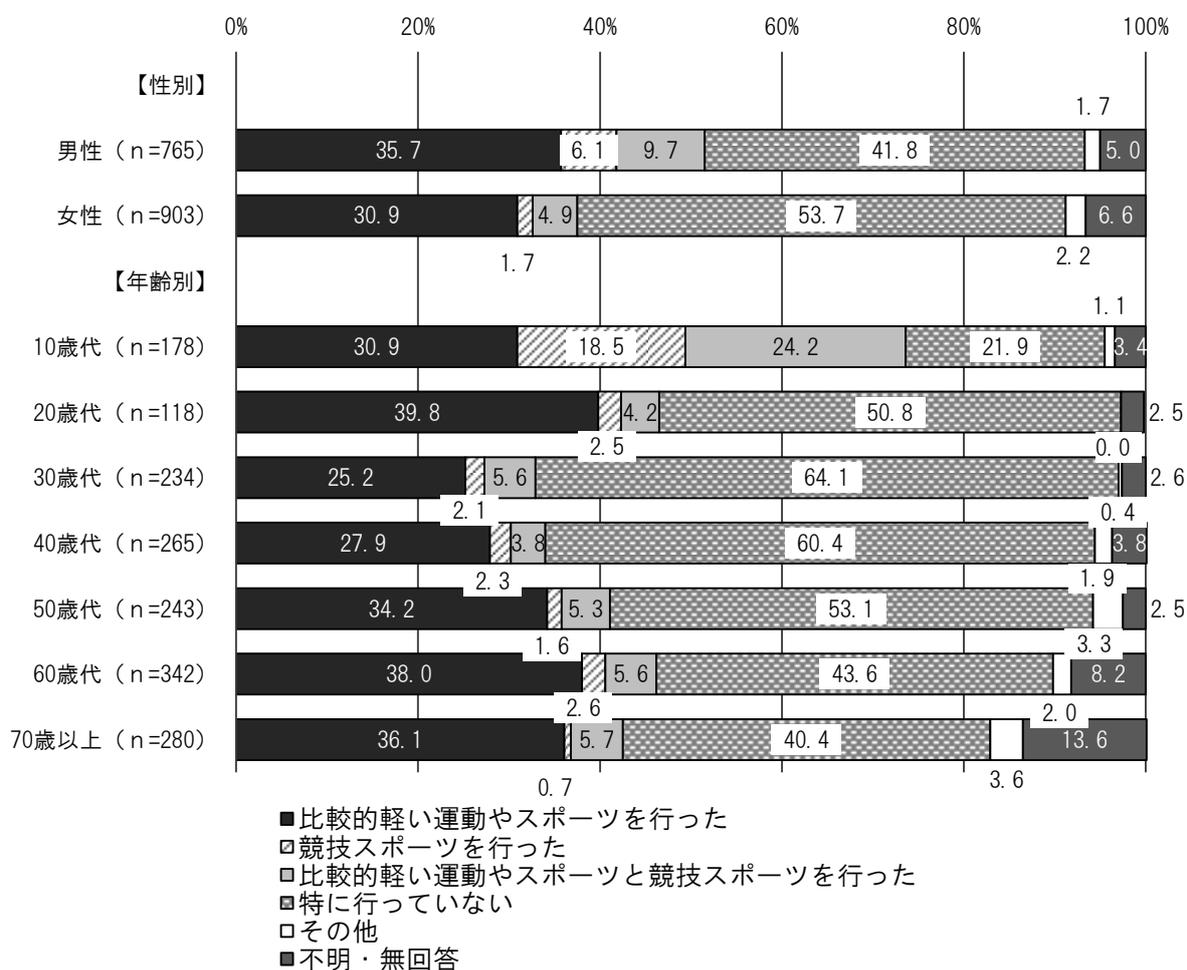
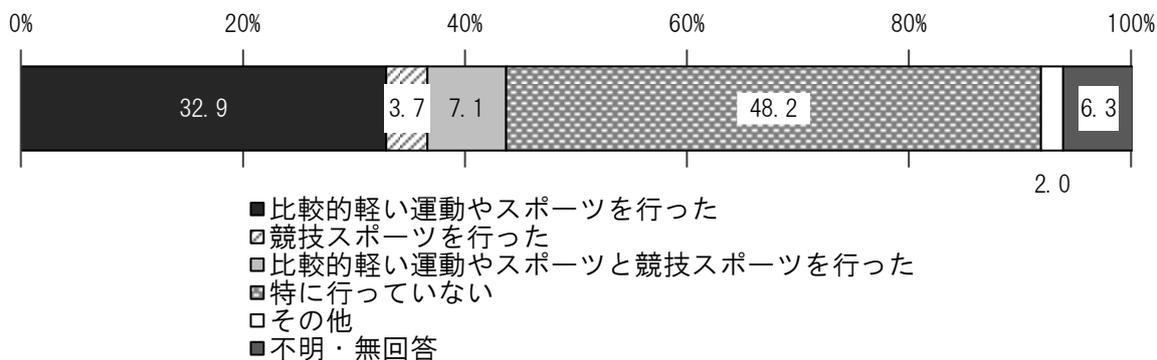
【2019年1～12月（コロナ前）】

n=1,686



【2020年1~12月（コロナ禍）】

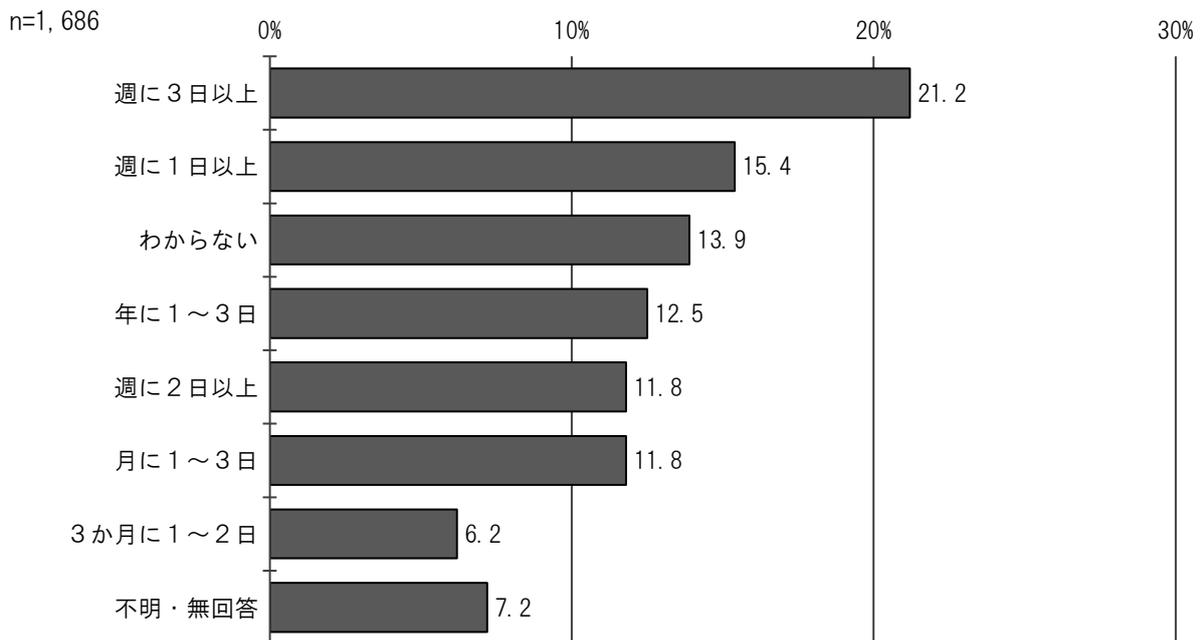
n=1,686



●運動やスポーツを実施した日数を全部合わせると、何日くらいになりますか。

運動の日数については、『週に1日以上』がコロナ前で48.4%、コロナ禍で39.5%と約10ポイント減少しています。男女別にみると、『週に1回以上』が女性に比べ男性で多くなっています。年齢別にみると10歳代では『週に1回以上』がコロナ前で84.9%、コロナ禍で73.0%となっていますが、20～50歳代の働く世代で減少しています。一方、60歳以上では働く世代に比べ運動の頻度が多くなっています。

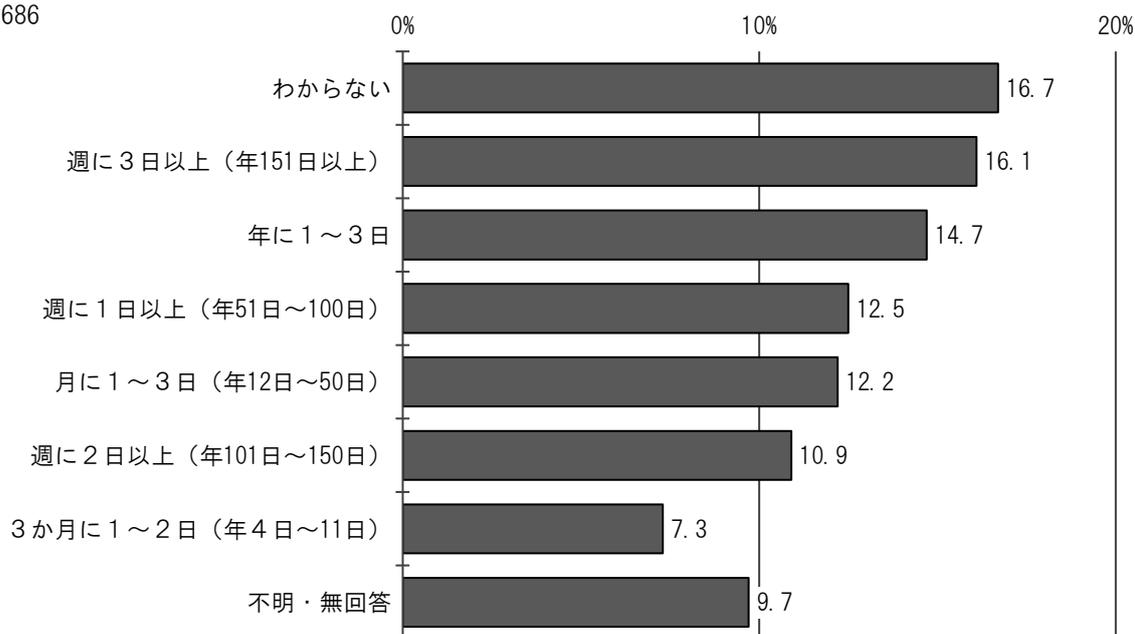
【2019年1～12月（コロナ前）】



	週に3日以上 (年151日以上)	週に2日以上 (年101日～150日)	週に1日以上 (年51日～100日)	月に1～3日 (年12日～50日)	3か月に1～2日 (年4日～11日)	年に1～3日	わからない	不明・無回答
【性別】								
男性 (n=765)	24.6	14.0	16.7	11.8	6.1	10.5	10.6	5.8
女性 (n=903)	18.6	10.0	14.4	11.7	6.3	14.4	16.7	7.9
【年齢別】								
10歳代 (n=178)	57.9	14.6	12.4	5.6	1.1	2.2	3.9	2.2
20歳代 (n=118)	12.7	8.5	14.4	14.4	14.4	14.4	17.8	3.4
30歳代 (n=234)	11.5	5.6	15.0	17.9	8.5	20.5	19.2	1.7
40歳代 (n=265)	11.3	11.7	14.3	15.5	9.4	17.7	16.6	3.4
50歳代 (n=243)	14.8	11.5	17.7	11.1	6.2	18.5	17.3	2.9
60歳代 (n=342)	19.9	17.5	17.3	11.1	4.7	9.1	12.6	7.9
70歳以上 (n=280)	26.4	10.7	14.3	7.9	3.2	6.4	10.4	20.7

【2020年1～12月（コロナ禍）】

n=1,686

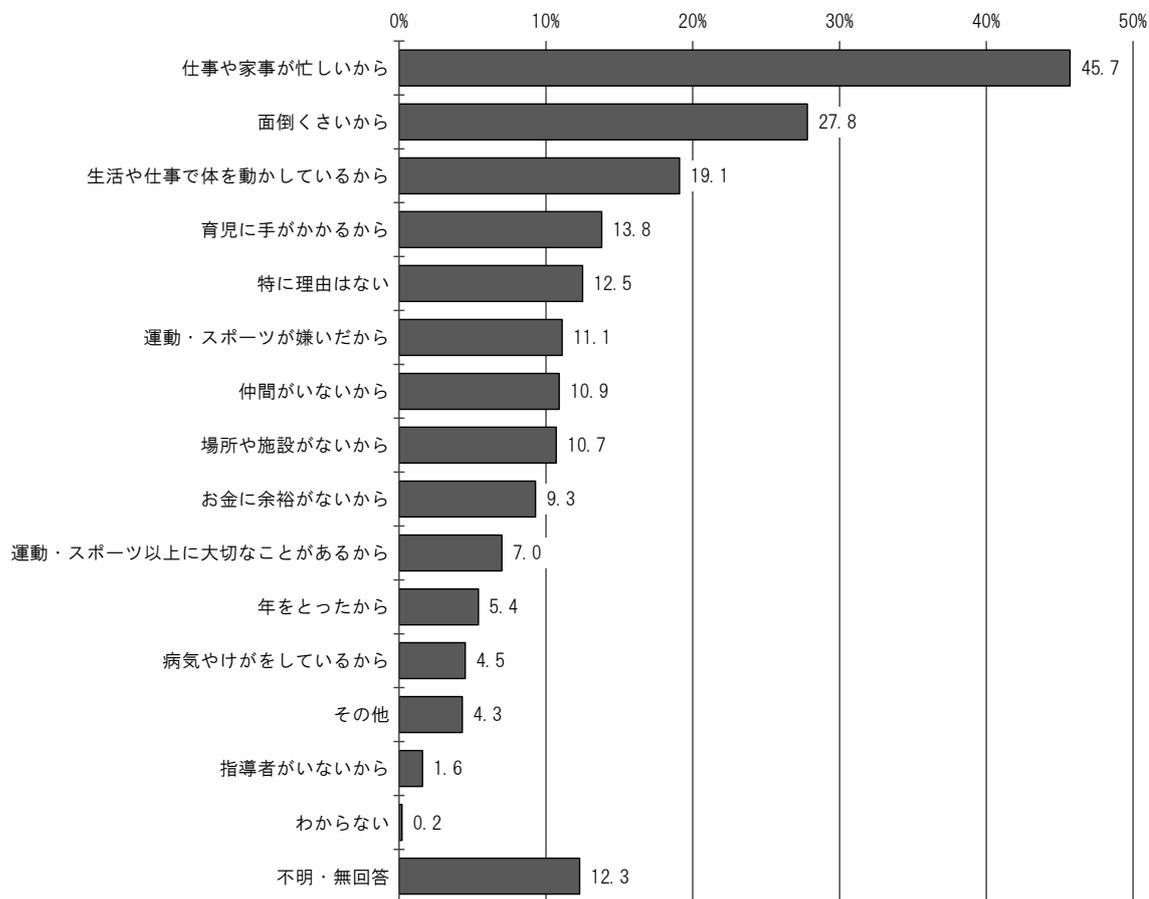


	週に3日以上（年151日以上）	週に2日以上（年101日～150日）	週に1日以上（年51日～100日）	月に1～3日（年12日～50日）	3か月に1～2日（年4日～11日）	年に1～3日	わからない	不明・無回答
【性別】								
男性（n=765）	17.9	12.9	14.6	13.1	7.5	12.7	13.3	8.0
女性（n=903）	14.7	9.3	10.9	11.3	7.3	16.4	19.5	10.6
【年齢別】								
10歳代（n=178）	41.6	15.7	15.7	14.6	1.1	2.8	5.1	3.4
20歳代（n=118）	11.9	6.8	11.9	15.3	11.9	19.5	17.8	5.1
30歳代（n=234）	7.7	8.5	8.5	15.0	11.1	22.2	22.6	4.3
40歳代（n=265）	9.1	8.7	12.5	12.1	9.1	21.1	22.3	5.3
50歳代（n=243）	12.8	9.9	12.8	10.3	7.4	19.8	22.2	4.9
60歳代（n=342）	14.0	15.2	14.9	11.4	7.0	11.4	14.3	11.7
70歳以上（n=280）	20.7	10.0	12.1	9.6	4.3	8.2	11.4	23.6

●運動・スポーツをしなかった理由は何ですか。【2019年1～12月（コロナ前）で、月に1～3日以下の頻度だった方のみ】

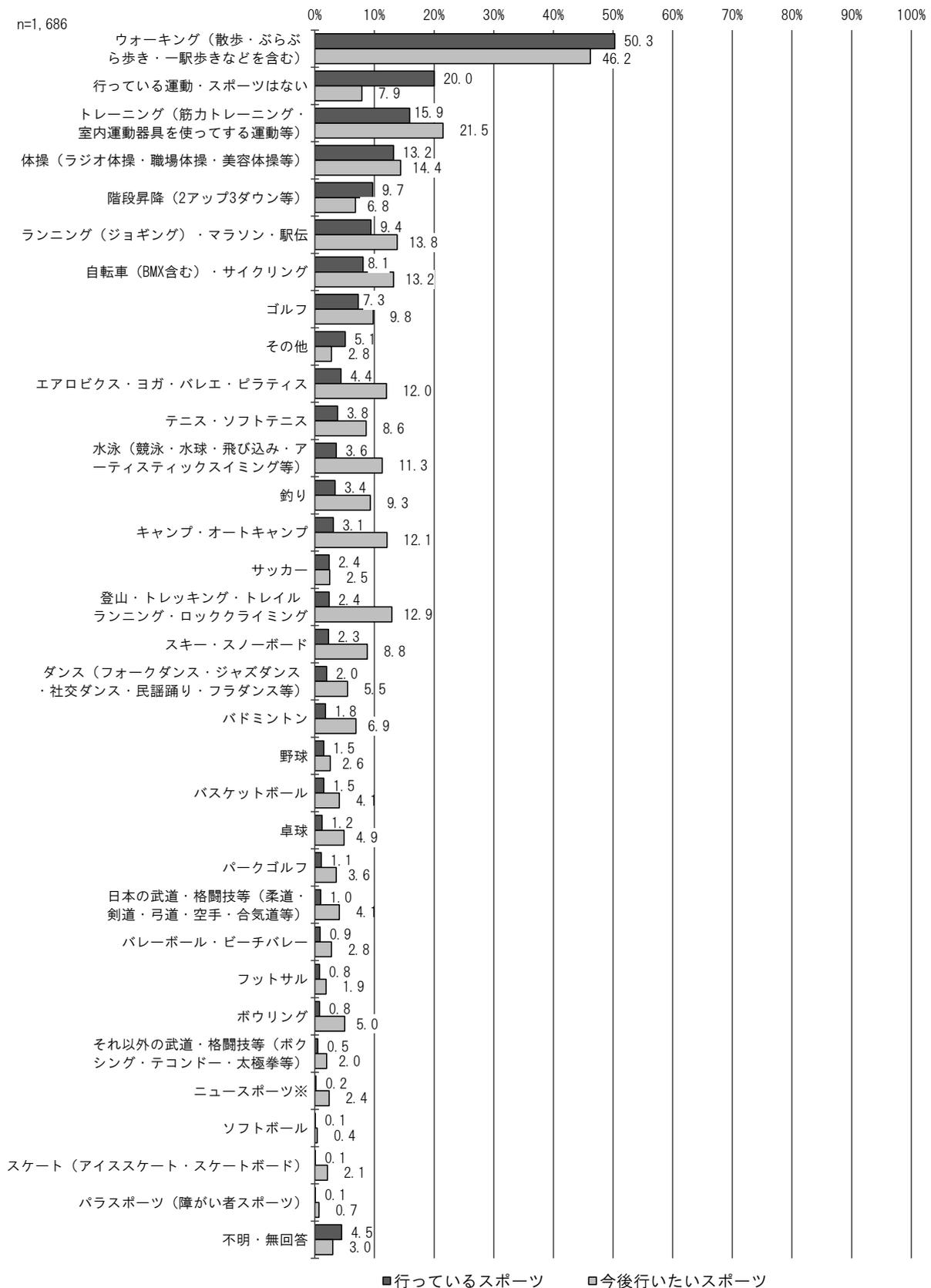
運動やスポーツをしなかった理由は「仕事や家事が忙しいから」が45.7%と最も多く、次いで「面倒くさいから」が27.8%となっています。

n=514



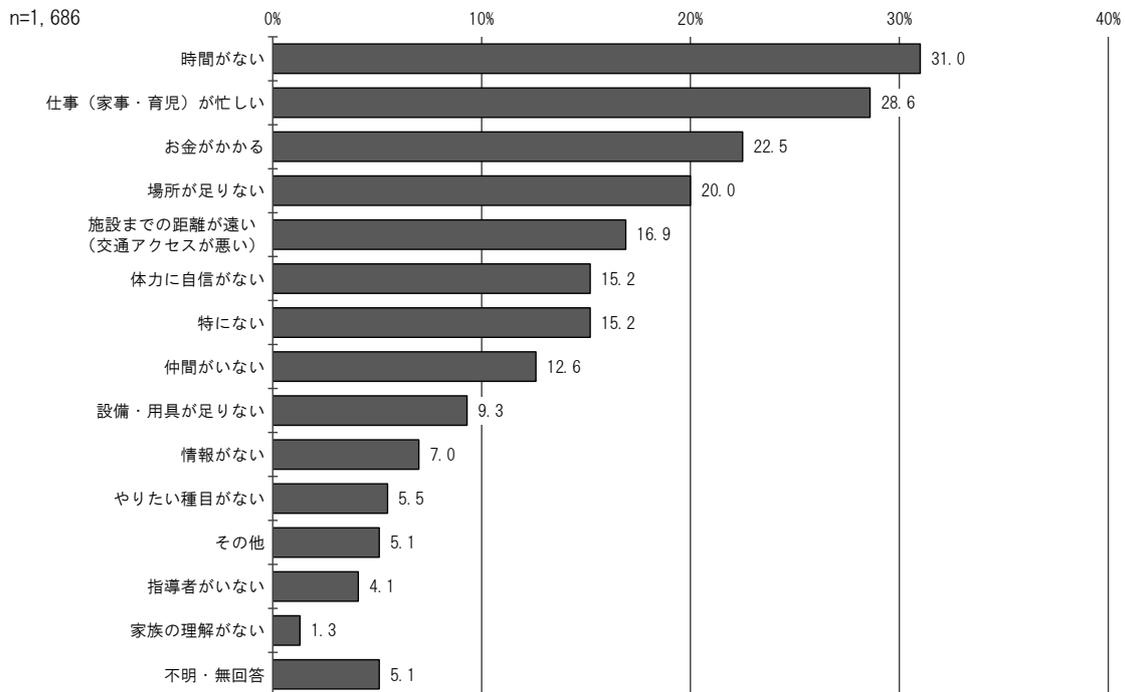
●現在行っている、今後行いたい運動・スポーツを教えてください。

現在行っているスポーツは、「ウォーキング」「トレーニング」「体操」の順で多くなっています。一方、今後行いたいスポーツについては、「ウォーキング」「階段昇降」を除きいずれも現在行っているを上回っています。



●運動・スポーツをするときに妨げになることは何ですか。

運動・スポーツの妨げになる原因として、「時間がない」が最も多く、次いで「仕事（家事・育児）が忙しい」「お金がかかる」が多くなっています。性別では概ね同様の傾向となっており、年齢別においても20歳代から50歳代で「時間がない」が最も多いものの、10歳代で「場所が足りない」が、60歳代で「お金がかかる」、70歳以上で「特にない」が最も多くなっています。

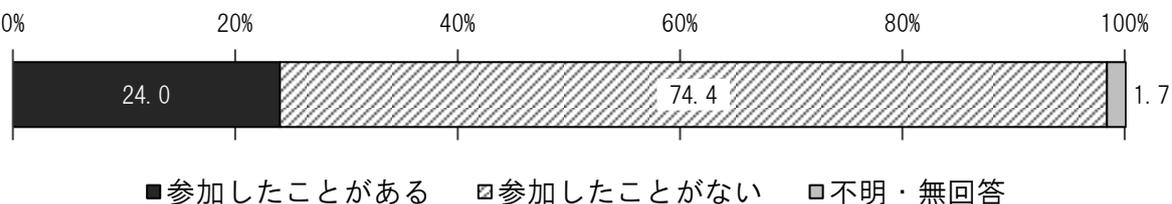


	場所が足りない	設備・用具が足りない	仕事（家事・育児）が忙しい	時間がない	仲間がいない	指導者がいない	お金がかかる	施設までの距離が遠い（交通アクセスが悪い）
【性別】								
男性（n=765）	24.8	11.8	24.1	27.5	14.1	4.4	21.6	14.4
女性（n=903）	16.2	7.3	32.9	34.4	11.5	3.9	23.4	19.2
【年齢別】								
10歳代（n=178）	29.8	14.6	3.4	24.7	9.6	4.5	21.3	20.8
20歳代（n=118）	24.6	16.1	35.6	48.3	19.5	5.1	23.7	24.6
30歳代（n=234）	27.4	14.5	55.1	47.4	18.4	3.4	28.2	19.7
40歳代（n=265）	23.8	9.8	46.0	46.8	14.7	3.4	34.7	17.7
50歳代（n=243）	14.8	5.3	36.2	37.0	10.3	2.5	24.3	18.9
60歳代（n=342）	16.1	6.1	19.6	18.7	11.1	5.3	19.3	12.6
70歳以上（n=280）	11.8	5.7	8.9	9.6	8.6	4.3	8.6	11.1
	やりたい種目が無い	体力に自信がない	家族の理解がない	情報が無い	その他	特にない	不明・無回答	
【性別】								
男性（n=765）	5.4	12.9	1.7	5.6	5.2	16.1	4.3	
女性（n=903）	5.6	17.4	1.0	8.1	5.0	14.5	5.2	
【年齢別】								
10歳代（n=178）	11.2	11.8	0.0	5.1	5.1	18.5	1.7	
20歳代（n=118）	7.6	12.7	0.0	5.1	8.5	6.8	0.8	
30歳代（n=234）	3.8	10.3	2.1	7.7	5.1	5.1	2.6	
40歳代（n=265）	3.0	18.5	4.5	6.8	2.6	7.5	0.8	
50歳代（n=243）	4.9	16.9	0.8	5.8	6.2	13.6	2.9	
60歳代（n=342）	5.8	16.7	0.3	10.8	5.6	18.4	6.1	
70歳以上（n=280）	4.3	16.1	0.4	4.3	4.6	28.9	14.3	

●地域におけるスポーツの大会や行事に参加したことがありますか。

スポーツの大会や行事の参加頻度について、「参加したことがある」は24.0%となっています。

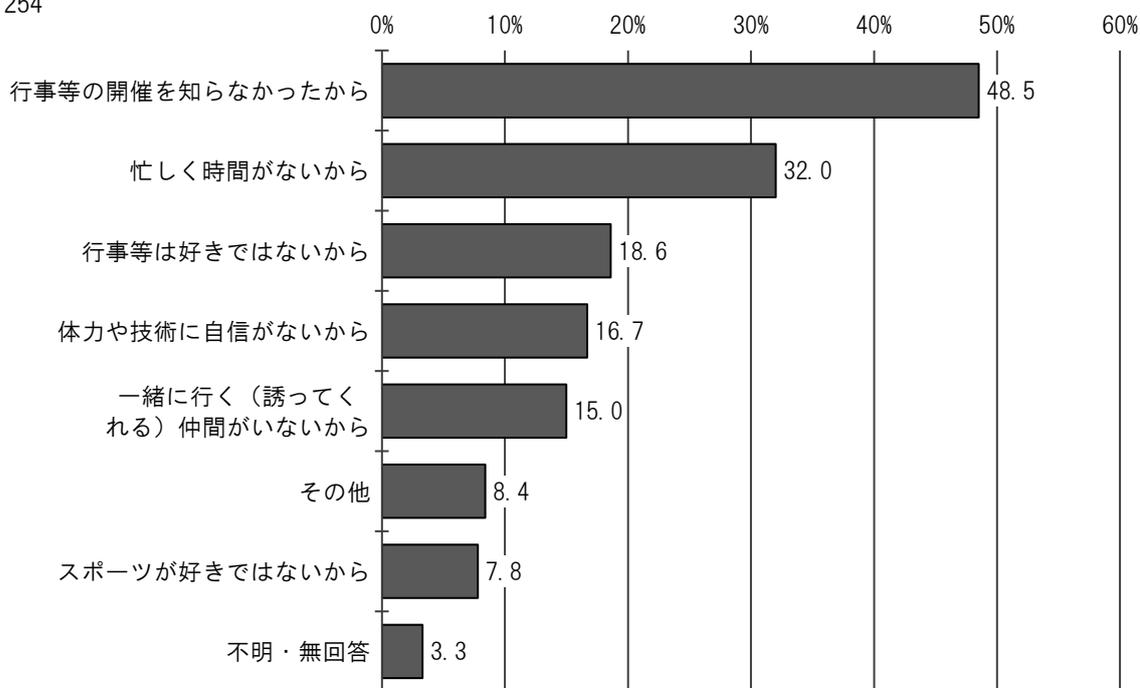
n=1,686



●参加しなかった理由は何ですか。【地域におけるスポーツの大会や行事に参加したことがない方のみ】

参加しなかった理由については、「行事等の開催を知らなかったから」が最も多くなっています。

n=1,254

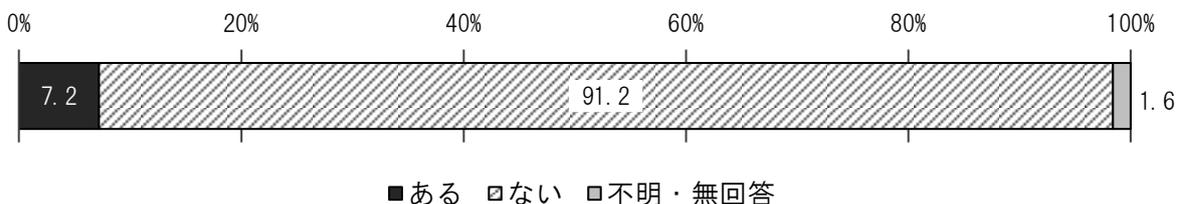


③スポーツを支える・応援することについて

●スポーツに関するボランティア活動を行ったことがありますか。

ボランティア活動の参加状況については、ほとんどの方が「ない」となっています。

n=514

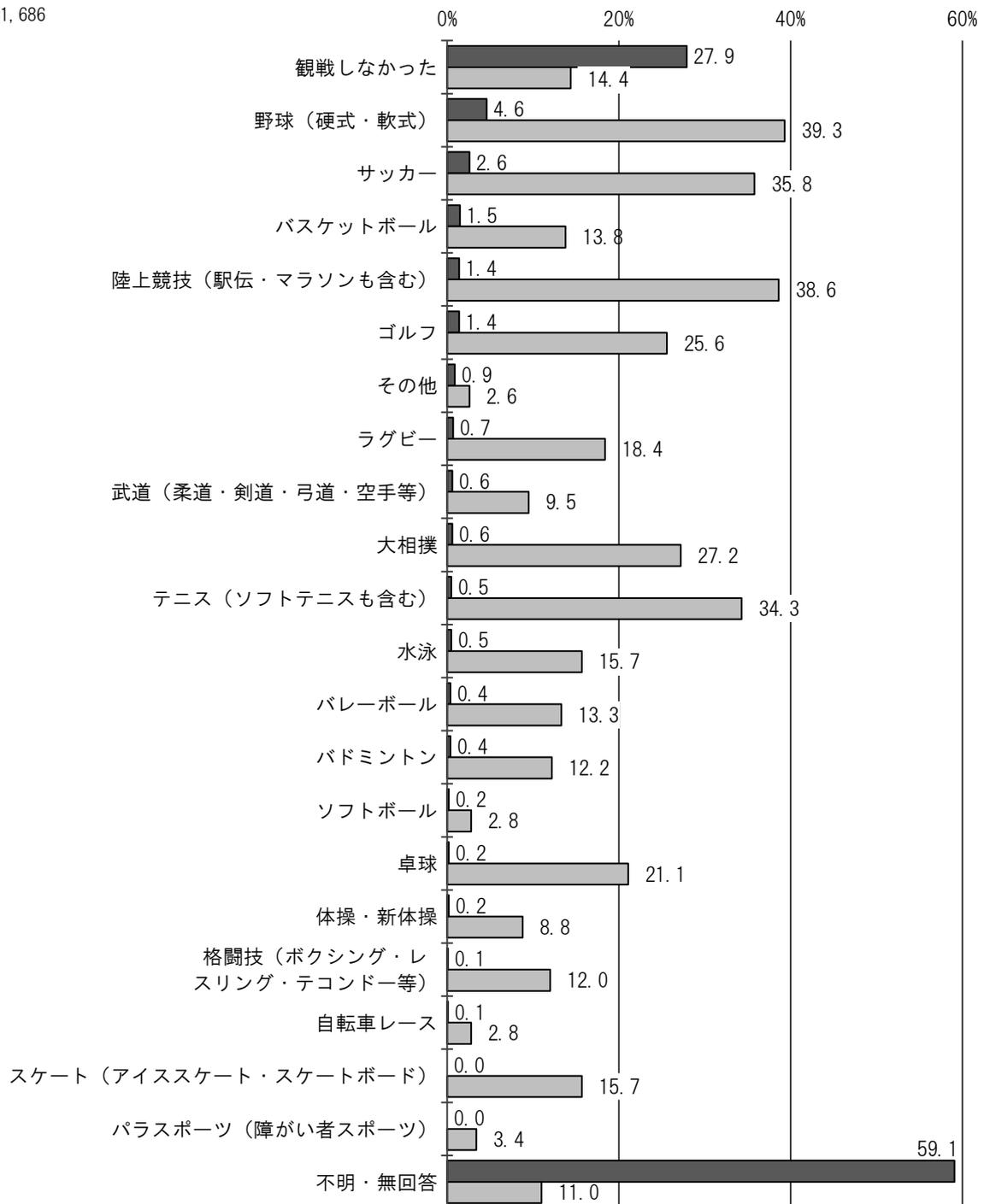


●この1年間にどんなスポーツを観戦しましたか。

この1年間のスポーツ観戦の状況について、直接現地ではコロナ禍の影響もあり「観戦しなかった」が最も多くなっています。観戦した競技では「野球」が最も多く、次いで「サッカー」「バスケットボール」等となっています。

テレビやインターネットでの観戦では、「野球」が最も多く、次いで「陸上競技」「サッカー」となっています。

n=1,686

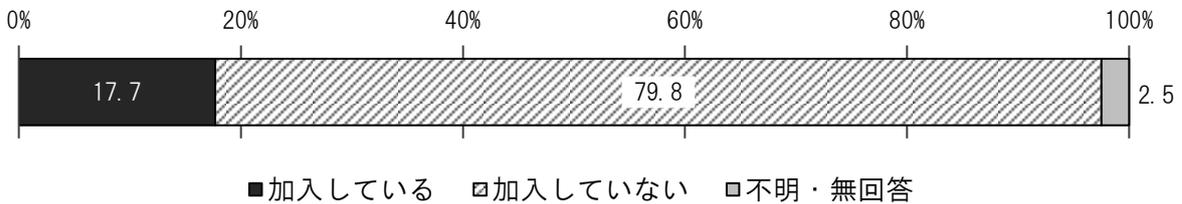


④スポーツを行う団体について

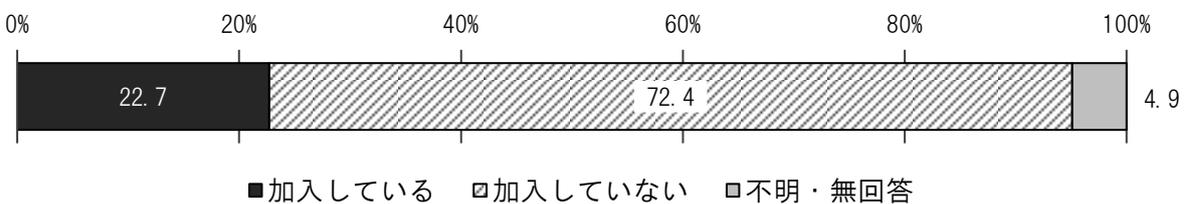
●スポーツのクラブやサークルに加入していますか。

スポーツのクラブやサークルへの加入については、「加入している」が17.7%となっています。前回調査と比較すると、「加入している」の割合が減少しています。

n=1,686



【前回調査 (H18)】

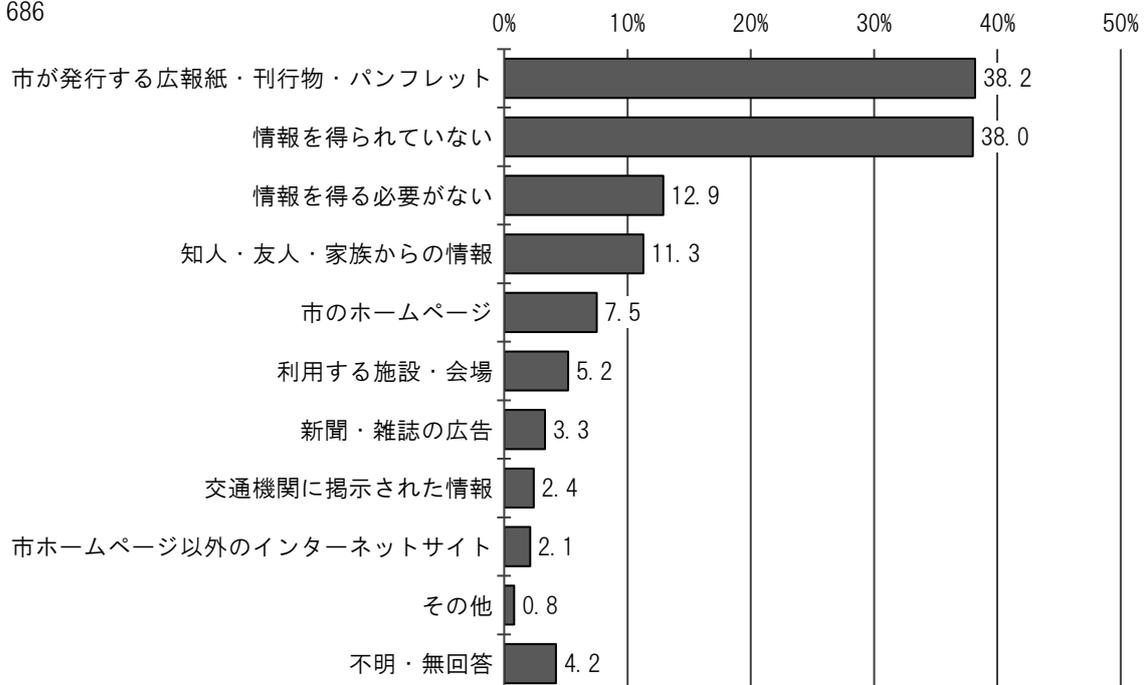


⑤運動・スポーツに関する情報について

●印西市の運動・スポーツ情報をどのようにして得ていますか。

情報の入手先については、「市が発行する広報紙・刊行物・パンフレット」が38.2%と最も多い一方、「情報を得られていない」も38.0%となっています。

n=1,686

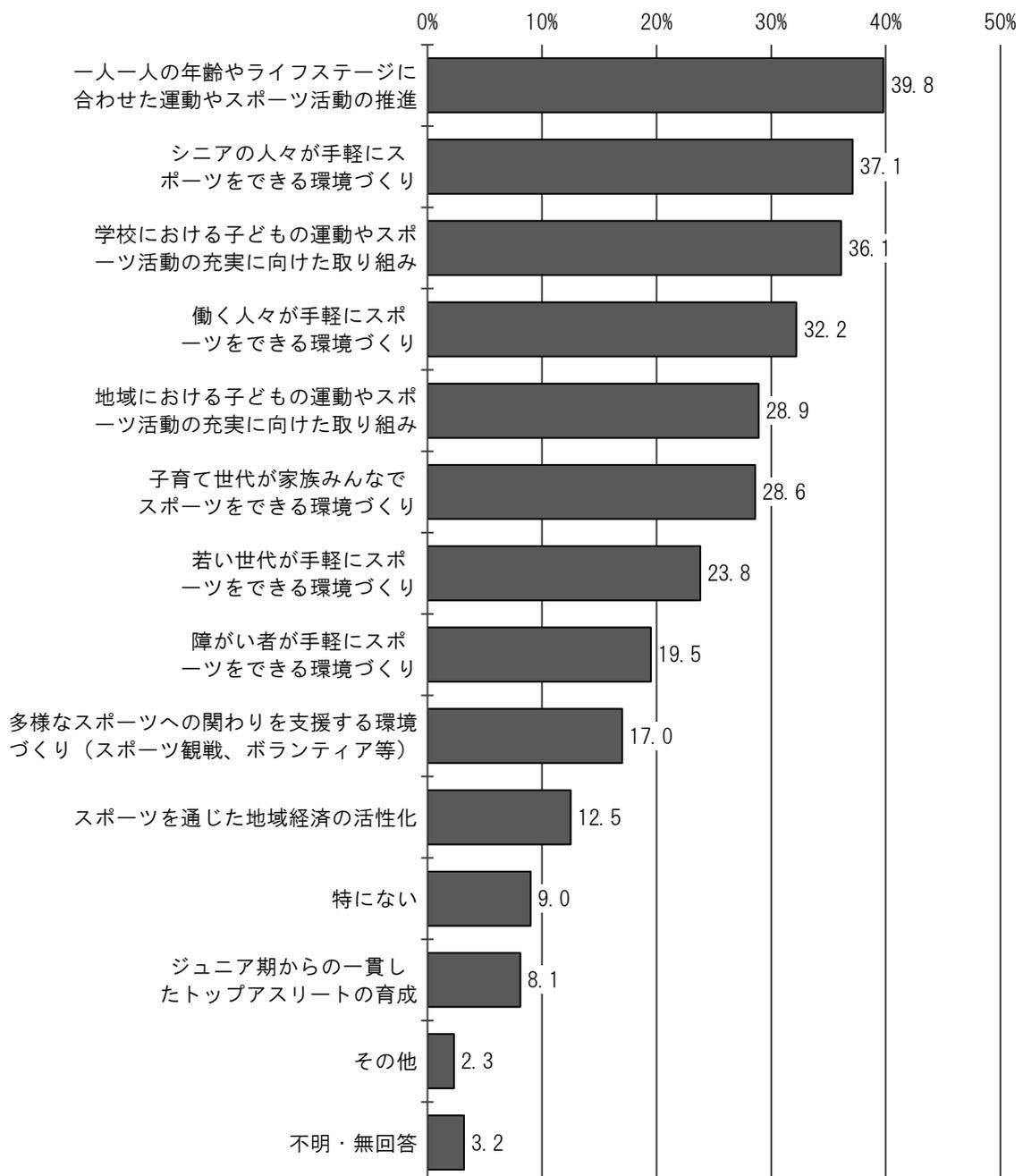


●今後、印西市はどのような運動・スポーツ施策に力を入れるべきだと思いますか。

力を入れるべき運動・スポーツ施策については、「一人一人の年齢やライフステージに合わせた運動やスポーツ活動の推進」が最も多く、次いで「シニアの人々が手軽にスポーツをできる環境づくり」「学校における子どもの運動やスポーツ活動の充実に向けた取り組み」となっています。

性別にみると同様の傾向となっています。年齢別にみると、10～40歳代の若い世代で「学校における子どもの運動やスポーツ活動の充実に向けた取り組み」や「若い世代が手軽にスポーツをできる環境づくり」、50歳以上で「一人一人の年齢やライフステージに合わせた運動やスポーツ活動の推進」「シニアの人々が手軽にスポーツをできる環境づくり」が多くなっています。

n=1,686



	学校における 子どもの運動 やスポーツ活 動の充実に向 けた取り組み	地域における 子どもの運動 やスポーツ活 動の充実に向 けた取り組み	一人一人の年 齢やライフス テージに合わ せた運動やス ポーツ活動の 推進	ジュニア期か らの一貫した トップアス リートの育成	若い世代が手 軽にスポーツ をできる環境 づくり	子育て世代が 家族みんなで スポーツをで きる環境づく り	障がい者が手 軽にスポーツ をできる環境 づくり
【性別】							
男性 (n=765)	34.0	29.8	39.6	9.8	25.1	26.3	17.6
女性 (n=903)	38.2	28.2	40.2	6.8	22.6	30.8	20.9
【年齢別】							
10歳代 (n=178)	50.0	21.3	24.2	11.8	34.3	23.6	20.8
20歳代 (n=118)	41.5	28.8	27.1	6.8	44.9	33.9	17.8
30歳代 (n=234)	48.3	39.3	27.8	12.4	26.9	49.1	15.0
40歳代 (n=265)	45.3	35.8	37.0	9.8	25.7	38.9	19.2
50歳代 (n=243)	29.2	28.8	56.8	9.1	16.0	21.8	24.3
60歳代 (n=342)	24.9	23.4	51.2	4.4	17.3	18.1	17.3
70歳以上 (n=280)	26.8	26.1	39.6	5.4	20.0	22.9	22.9
	働く人々が手 軽にスポーツ をできる環境 づくり	シニアの人々 が手軽にス ポーツをでき る環境づくり	多様なスポー ツへの関わり を支援する環 境づくり (ス ポーツ観戦、 ボランティア 等)	スポーツを通 じた地域経済 の活性化	その他	特にない	不明・無回答
【性別】							
男性 (n=765)	32.0	38.3	18.0	14.9	2.1	8.8	3.1
女性 (n=903)	32.2	35.9	16.5	10.6	2.5	9.2	3.0
【年齢別】							
10歳代 (n=178)	24.7	15.7	20.2	10.1	2.2	14.6	2.2
20歳代 (n=118)	42.4	21.2	17.8	14.4	1.7	8.5	2.5
30歳代 (n=234)	34.6	16.2	12.4	10.3	4.3	9.0	0.9
40歳代 (n=265)	44.2	24.5	18.9	15.1	3.0	6.8	1.5
50歳代 (n=243)	44.0	42.4	18.9	15.2	3.3	6.6	0.8
60歳代 (n=342)	24.0	57.6	17.3	10.8	1.2	6.7	3.2
70歳以上 (n=280)	19.6	56.8	15.7	13.2	1.1	12.1	8.2

3 団体調査からみる現状

(1) 調査の目的

スポーツによるコミュニティの形成・強化に向けた個別の課題や施策のアイデア・方向性を抽出し、計画策定の基礎資料とするために、市内のスポーツに関わる団体・事業者等に対し、活動を進めるにあたっての環境、指導体制、活動上の課題や今後必要な支援等をうかがいました。

(2) 調査の概要

調査対象者	市内のスポーツに関わる団体等
調査期間	令和3年3月11日～3月25日
調査方法	郵送及びメール配布・回収
発送団体数	58団体
回答数	31団体
回答率	53.4%

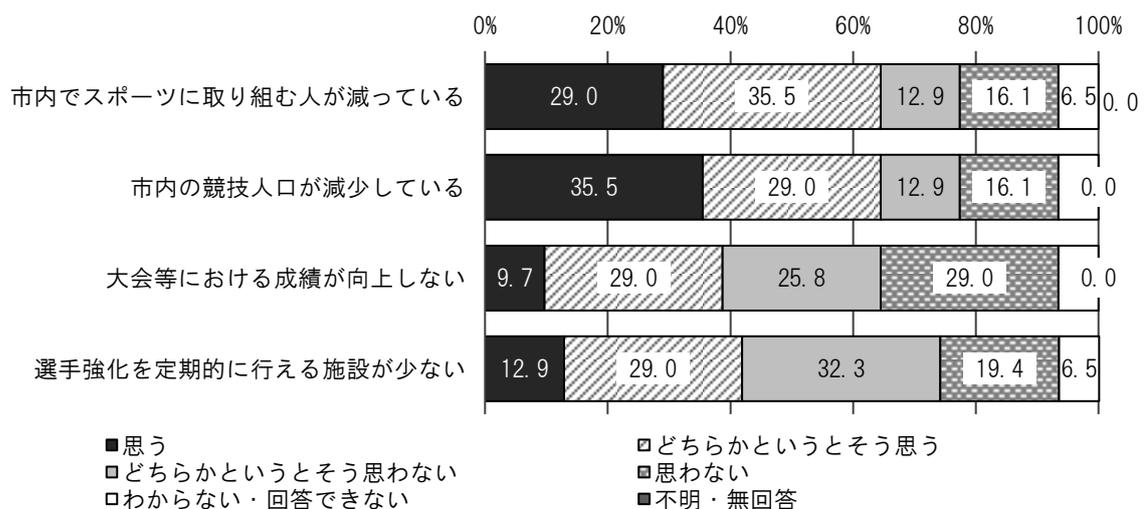
(3) 結果の概要

①市内スポーツに対して感じていること

●スポーツ人口・競技人口について

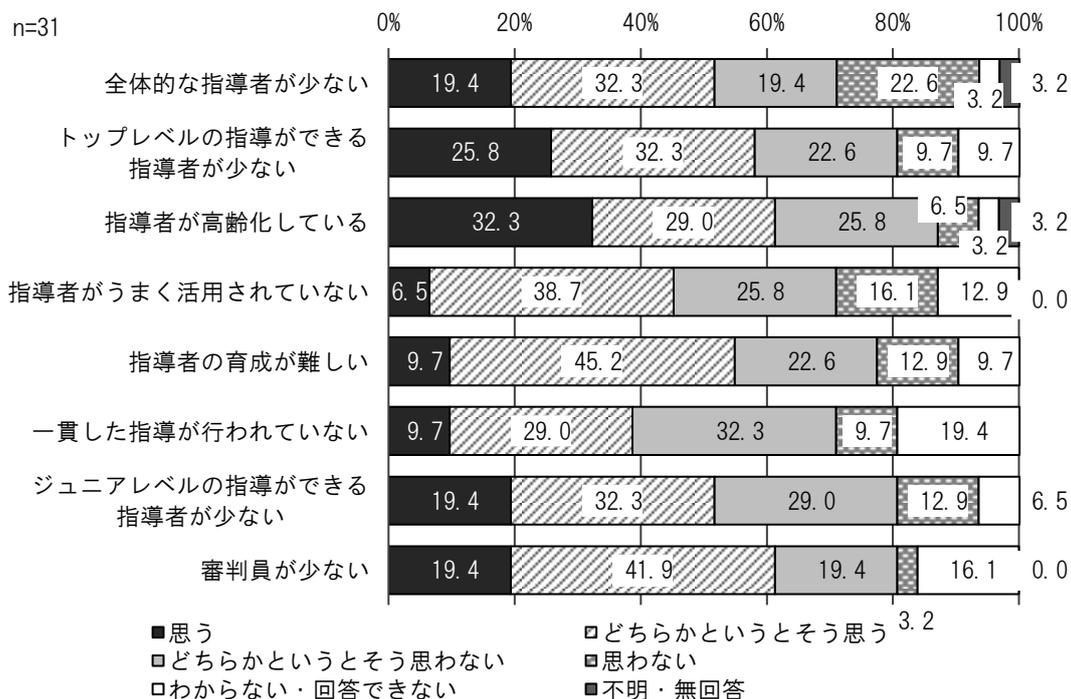
「市内でスポーツに取り組む人が減っている」や「市内の競技人口が減少している」で「思う」が多くなっています。

n=31



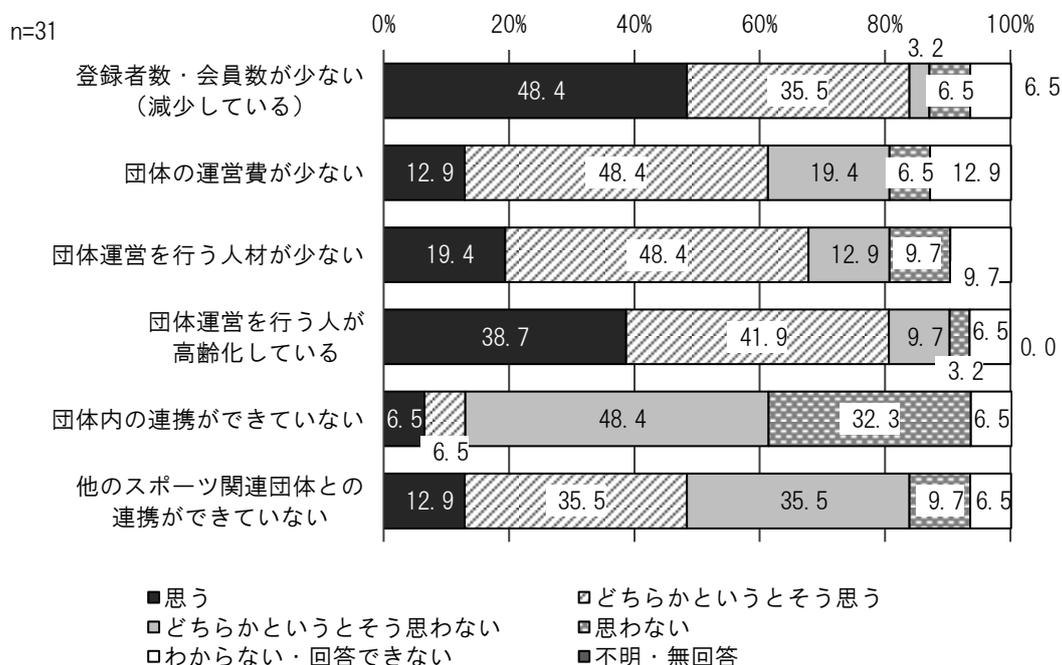
●指導者等について

「トップレベルの指導ができる指導者が少ない」や「指導者が高齢化している」で「思う」が多くなっています。



●団体の運営について

「登録者数・会員数が少ない（減少している）」や「団体運営を行う人が高齢化している」で「思う」が多くなっています。



②地域におけるスポーツ振興について

●団体・事業者において、スポーツ活動を推進するうえでの課題について（自由記述）

【担い手、参加者不足】

- 市レベルの連携が皆無である。市民大会の開催は全くのボランティアである。
- ボランティア活動なので保護者の協力が欠かせないが、役員のなり手が少ない。自分の子どもが卒団後に引き続き指導者に留まりコーチ・運営者になる人も不足。
- 活動場所の制約があり、対外試合がなかなかできない。
- 若い人の参加がない。子どもたちの参加者がいない。
- 指導者が年をとってきている。
- 指導者不足。柔道という競技全般に言える事ですが、競技人口の少なさ。中学校での部活動がない学校がほとんどのため、進学と同時に競技から離れてしまう。

【活動の場】

- 様々なライフスタイルに応じたスポーツ施設等の活動の場の充実。総合型スポーツ施設に近づく様に整備する。大学や医療施設、印西市、企業との連携の強化。

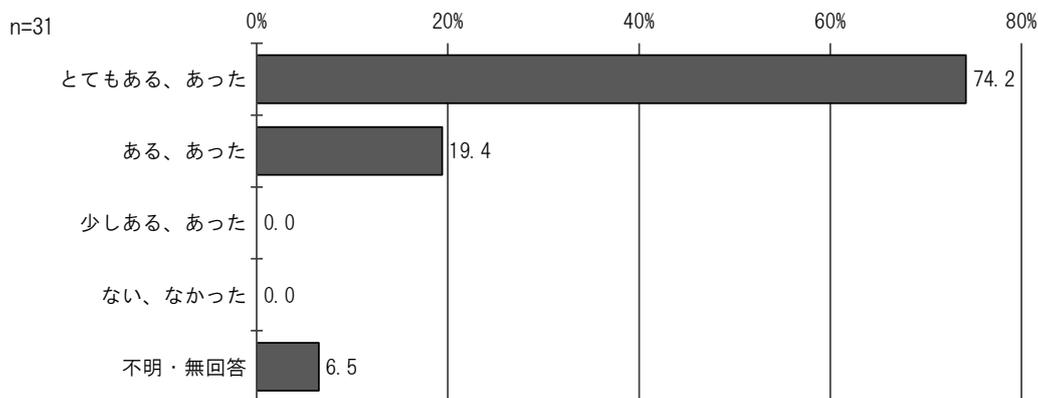
【活動の制限】

- 1人でも多くの方に健康増進、未来への投資を呼びかけ、“今こそフィットネス”を広めたい。特にコロナ禍になり、運動不足が国をあげての問題だと思う。
- 新型コロナウイルス感染症の拡大により、令和2年度は市民大会が開催出来なかった。この状況下、今後競技者をどのようにして増加させていけるのか？ など

③新しい生活様式への対応について

●新型コロナウイルス感染症の拡大による活動への影響について

多くの団体で新型コロナウイルス感染症の影響を受けています。



●活動への影響については、具体的にどのようなことがあったか（自由記述）

【活動への制限】

- 活動が制限され、会員同士の目標に向かった一体感が薄れ、気持ちがバラバラになった。役員の高齢化を考えると今後継続していくことは困難である。
- 活動の休止（学校体育施設利用禁止期間中）。対外試合の制限（学校施設では禁止）。地域大会の大幅減。
- 練習量が少なく大会が中止になった為、チームのコミュニケーションの不足。
- 活動場所、時間の制限。活動して良いのか、自粛すべきなのか、連盟からの明確な指示がなく、市内チームの活動に統一性がなかった。

【身体的、経済的な負担】

- 試合前のチェックシートの作成、検温等に時間がかかるようになり、試合数を減らすことになってしまい中止にせざるを得ない大会もあった。
- 施設の利用者は前年同月比ほぼ7割の収入減となっている。また令和2年4月、5月の全館休館、時短営業、イベント等の自粛など活動が制限された。

【会員数への影響】

- クラブの会員数に影響が出ている。コロナ予防に対する知識に個人差が大きく、誤解をしている方が多い。ステイホームの影響により健康が脅かされている。
- コロナ禍でスポーツを続ける事ができず、やめてしまう子どもたちが増えてしまった。
- 特に年配の者が活動を続けられずやめてしまうのではないかと心配をしていた。 など

●コロナ禍において、貴団体・事業者がスポーツ活動の再開・継続に向けて取り組んでいることについて（自由記述）

【消毒、マスク等】

- 消毒、手洗いの徹底と継続。密を避けるため、時間の短縮と分割（高学年と低学年で分散）
- 練習時等における、マスク、消毒、三密防止の徹底。
- 団体ごとに独自に対策は行っている。ただコンタクトスポーツであるという事と、不特定多数の参加出来るイベントなどを管理運営するには人手が足りないのが現状。コロナが終息するまではなかなか難しい。
- FIA（フィットネス産業協会）の指標を遵守し運営している。”今こそフィットネス”をスローガンに掲げ、日々一般の方へも周知活動をしている。
- 感染予防の徹底と毎日の体温を計り、発熱者がいた場合は休んでもらう。行政の言うこと以上のことを行い、ルールを守って行って感染拡大防止を徹底している。遠征等も行わない。

【新しい活動方法の提供】

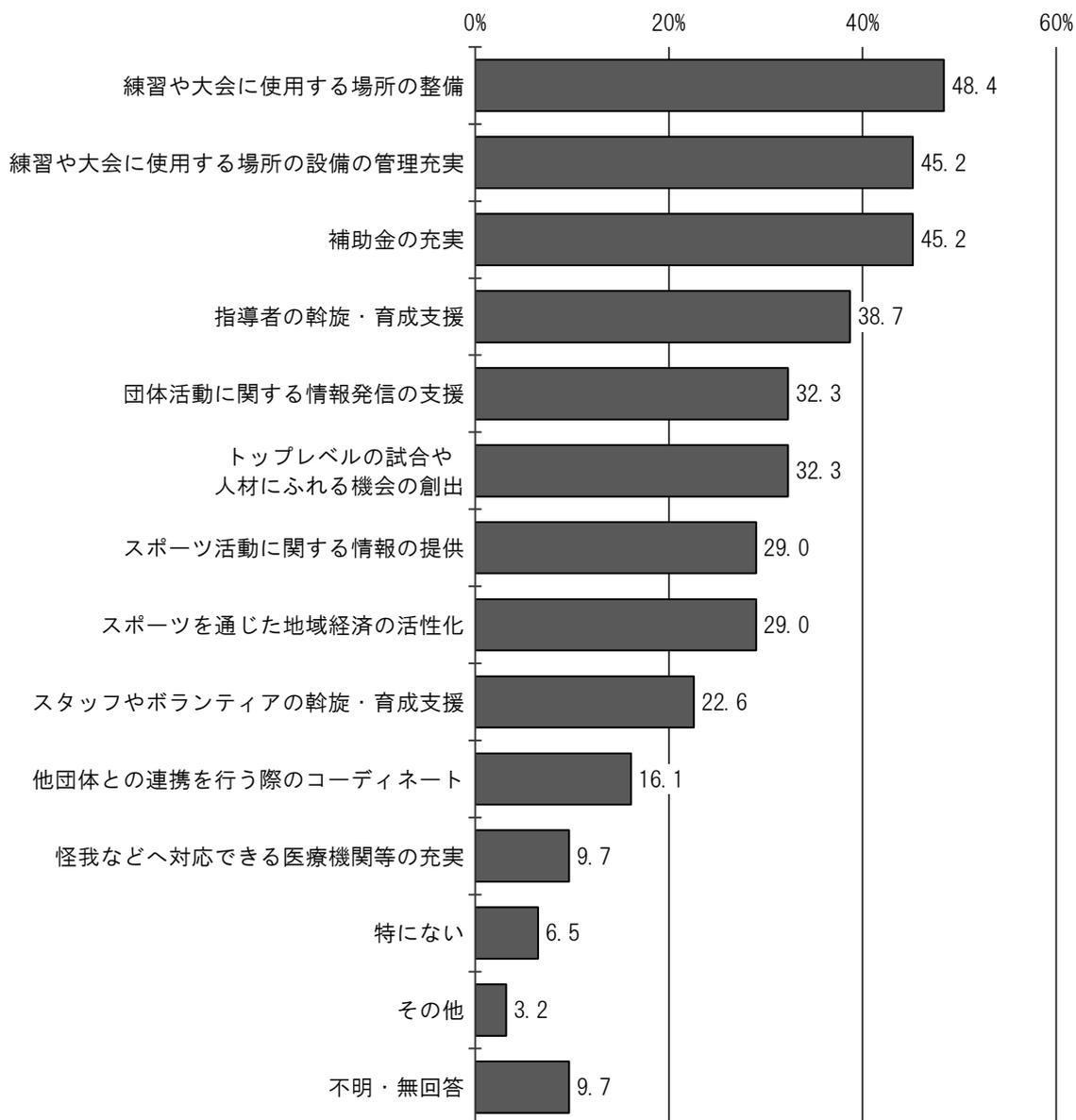
- ユーチューブでの配信レッスンの実施。コロナ対策を徹底し、安心・安全にご利用いただける施設の環境作り。
- 自宅でのトレーニング、人のいない時のジョギングなどを勧めているが、それぞれ感染予防に努める事が第一だと思う。
- 選手（子どもたち）のモチベーションを保つこと

④今後の方向性について

●印西市におけるスポーツ振興に向けて、市にどのような支援を期待するかについて

「練習や大会に使用する場所の整備」や「練習や大会に使用する場所の設備の管理充実」「補助金の充実」などが多くなっています。

n=31



4 課題のまとめ

①運動・スポーツ習慣の定着化

- 運動不足を感じる方が全体で約 8 割、特に働き盛りの 30～40 歳代で約 9 割と特に多くなっています。運動やスポーツをしなかった理由は「仕事や家事が忙しいから」、「面倒くさいから」が理由として上げられており、運動・スポーツの妨げになる原因としても「時間がない」が最も多いことから、忙しい中でも継続して行える運動の周知や普及に努め、運動習慣の定着化を推進していく必要があります。

②新しい生活様式に対応したスポーツ活動の継続

- 新型コロナウイルス感染症の流行により、スポーツ等を行う頻度が流行前に比べ約 10 ポイント減っていることや、団体調査でも活動や大会・施設運営に制限が出ているといった意見が多く、運動やスポーツの実施や観戦の機会が失われてきました。また、それによる参加者同士のコミュニケーションの機会も減少しています。こうした状況の中、感染拡大防止の取り組みに加え、オンラインツール等デジタル技術の活用など、新しい生活様式に対応しながら、運動やスポーツを継続できるような取り組みを推進することが重要です。

③スポーツ団体指導者の育成支援や会員数の確保

- 団体調査では「指導者や運営者が高齢化している、不足している」といった意見や、会員も若い方を中心に減少しているといったことが課題としてあげられています。また、スポーツのクラブやサークルへ加入している割合が 17.7%と 10 年前に比べ低くなっています。地域でのスポーツ活動の活性化のために、スポーツ活動団体の活動の周知や、指導者の育成が重要です。

④大会や行事、ボランティア活動への参画

- スポーツの大会や行事の参加頻度について、「参加したことがある」は 2 割台、ボランティア活動の参加状況も 1 割未満と低い状況となっています。スポーツの大会や行事参加しなかった理由としては「行事等の開催を知らなかったから」が最も多くなっています。参加者の確保に向けた活動の周知や、理解の促進を図る必要があります。

⑤ライフステージに応じた施策の展開

- 市に期待する運動・スポーツ施策について、若い世代では「学校における子どもの運動やスポーツ活動の充実に向けた取り組み」や「若い世代が手軽にスポーツをできる環境づくり」が、50 歳以上では「一人一人の年齢やライフステージに合わせた運動やスポーツ活動の推進」や「シニアの人々が手軽にスポーツをできる環境づくり」が求められています。世代のニーズに応じた運動・スポーツ施策の推進を図っていくことが重要です。

第3章 計画の基本的な考え方

1 基本理念

※基本理念については、今後

スポーツわいわい みんな生きいき いんざい元気

(前回計画時の基本理念)

案1 みんなが元気 ずっとスポーツを楽しめるまち いんざい

(総合計画の目指す姿より一部引用)

案2 Sport in Life! 生涯スポーツでみんな生きいき いんざい

(国第3期計画の諮問内容より一部引用)

2 基本目標

3 計画の体系

※現行計画体系踏襲案（教育振興計画）

1 スポーツ参加機会の拡充

- (1) スポーツ情報システムの充実
- (2) 市民参加型スポーツの普及・推進
- (3) スポーツによる健康づくりの推進
- (4) 市民ぐるみのスポーツイベントの推進
- (5) スポーツイベントの開催・誘致

2 特色あるスポーツ事業の展開

- (1) クライミングの普及・推進
- (2) パークゴルフの普及・推進

3 スポーツ・レクリエーション施設の充実

- (1) 利用者の視点に立った施設運営
- (2) 学校体育施設利用の推進
- (3) 学校プール開放
- (4) スポーツ施設利用の多様化への対応

4 スポーツ指導者の育成

- (1) スポーツ指導者の育成
- (2) スポーツリーダーバンクの構築
- (3) スポーツボランティアの育成
- (4) スポーツ団体等の活動支援
- (5) 競技力向上の推進

5 総合型地域スポーツクラブへの支援

- (1) 総合型地域スポーツクラブの育成

※国・県の計画を踏まえた体系組み替え案

1. スポーツ参画人口の拡大と人材育成

- (1) スポーツ指導者の育成
- (2) スポーツリーダーバンクの構築
- (3) スポーツボランティアの育成
- (4) スポーツ団体等の活動支援
- (5) 競技力向上の推進
- (6) 特色あるスポーツ事業の展開」も可能

2. スポーツ環境の整備

- (1) 利用者の視点に立った施設運営
- (2) 学校体育施設利用の推進
- (3) スポーツ施設利用の多様化への対応

3. スポーツを通じた共生社会の実現と地域の活性化

- (1) スポーツ情報システムの充実
- (2) 市民参加型スポーツの普及・推進
- (3) スポーツによる健康づくりの推進
- (4) 市民ぐるみのスポーツイベントの推進
- (5) スポーツイベントの開催・誘致

4. スポーツ推進体制の整備

- (1) 総合型地域スポーツクラブの育成
- (2) 推進体制の整備